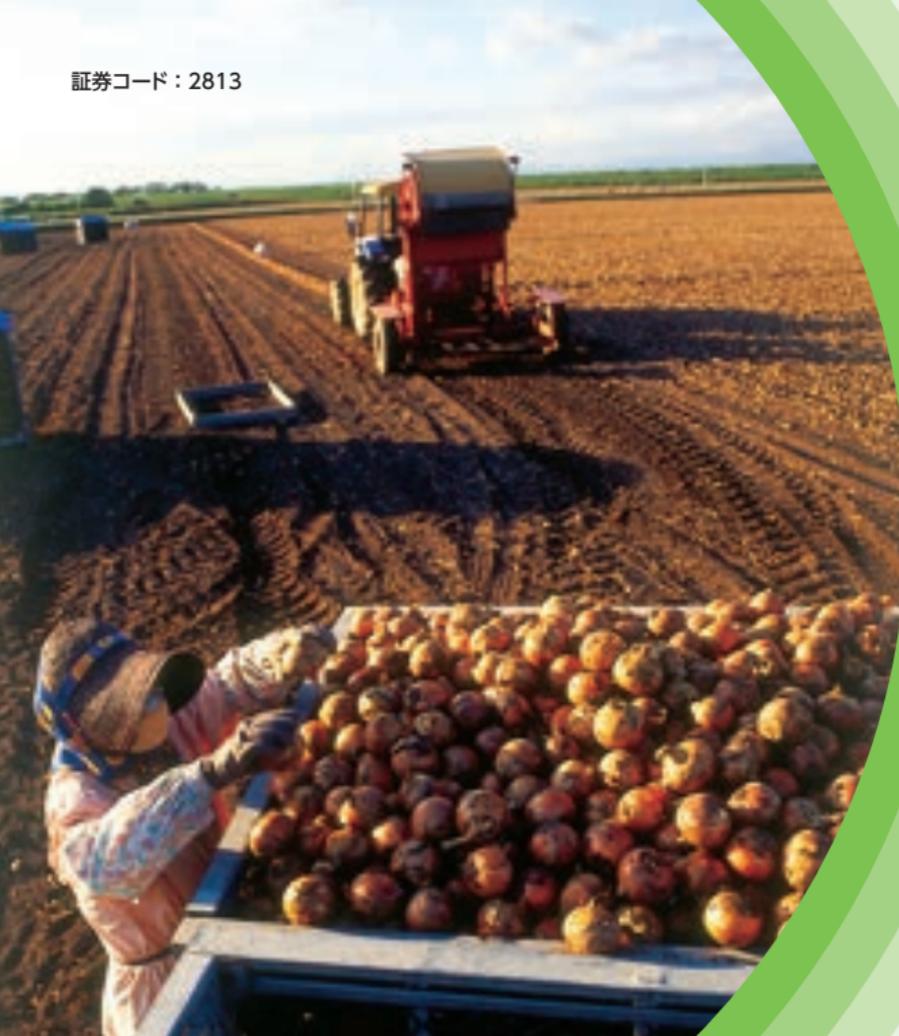


証券コード：2813



WS 和弘食品株式会社

株主・投資家の皆様へ

第51期中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

海外戦略 P4

和弘食品の特徴 P5



「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」

を基本に、少量多品種短納期生産に磨きを掛け、
高付加価値の商品作りとお客様満足度向上に努めてまいります。



当中間期におけるわが国経済は、為替の円安などから、大手輸出企業を中心に企業収益が改善し、株価も回復基調で雇用情勢が幾分持ち直したこともあり景気は比較的堅調に推移いたしました。

食品業界では、為替の円安や相場の高騰により、輸入原材料や燃料などが値上がりしたため厳しい環境が続きました。

そうした状況のもと、当社グループでは、営業部門で、外食、中食向けの業務用調味料の拡販を図るため、営業開発部を設置し、新規開拓に力を入れるとともに、各種展示会などへ積極的に参加し、業務

用製品をアピールいたしました。

その結果、連結売上高2,857百万円、連結営業利益102百万円、連結経常利益140百万円、連結四半期純利益91百万円となりました。

今後は、純植物性の豚骨風ラーメンスープ、イカゴロのたれなど他社に無い高付加価値差別化商品の開発に力を入れるとともに、業務用ラーメンスープに付随して販売する業務用ガラスープなどの開発にも積極的に取り組んでまいります。

米国子会社におきましては、現地生産に向けた準備を進めつつ、日本国内からの輸出商品の販売を推進すべく、営業活動に積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

代表取締役社長

和山 明弘

🔍 事業内容のご紹介

和弘食品は業務用調味料メーカーとして創業以来、豊かな大自然に恵まれた北海道にその根をおろしてまいりました。当社の味づくりの基本は北海道の新鮮な海の幸、山の幸から当社独自の製造技術と設備により芳醇な自然のうま味である「だし」「ブイヨン」を採り出すところにあります。そして、当社はそれらをふんだんに活用した本物志向の「つゆ」「たれ」「スープ」や「天然エキス」などの商品を食品メーカー、外食企業、コンビニエンスストアなどの流通企業に向けてメニューとともに提供してまいりました。当社は少子高齢化の進行など社会の変化に対応すべく今後とも高付加価値の本物志向・天然志向・健康志向の商品作りを目指すとともに「食の安全と安心」を徹底して追求してまいります。

別添用スープ

業務用調味料作りの特長を生かし、独自の天然のうま味である「だし」「ブイヨン」を使用することで、より本格的な専門店の味をご家庭にお届けしております。

主要品目：各種調味料・スープ・たれ類

業務用スープ

専門店での仕込み作業を軽減し本格的な味づくりをバリエーション豊かに応援。主力のラーメンスープ他、ガラスープ、めんつゆ、外食、中食、水産、畜肉等のメニュー作りをお手伝いする数多くの商品ラインナップがあります。数多くの企業や繁盛店の応援をしています。

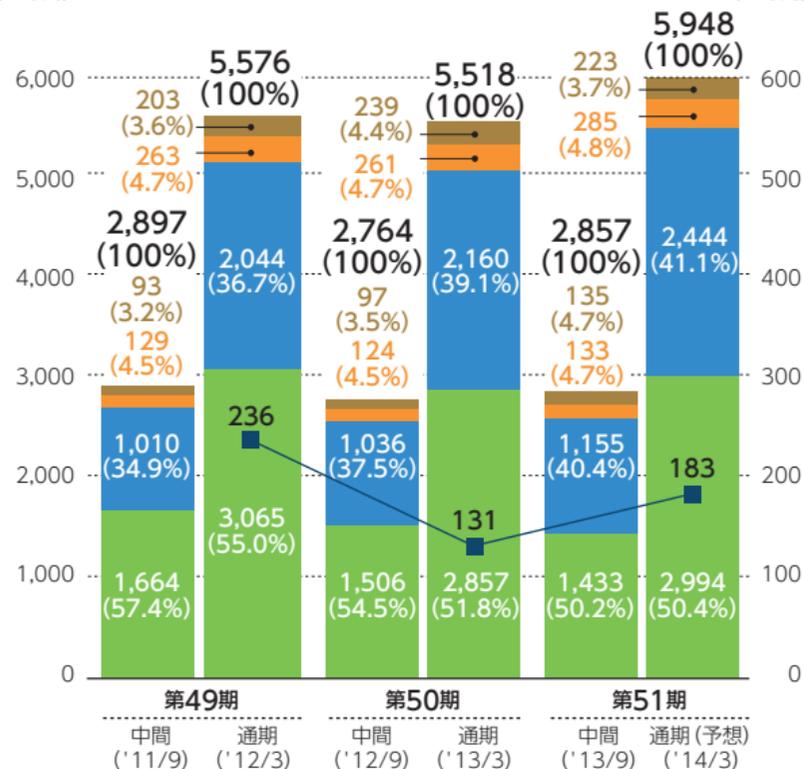
主要品目：各種調味料・スープ・たれ類

天然エキス

当社主力製品の1つです。北海道の大自然で育まれた新鮮素材を十分に吟味し、独自の製造技術により純粋な天然エキスを創りあげました。これらエキスは自社オリジナルの加工原料として、数多くの製品に取り入れられるとともに外販しています。

主要品目：エキス、ブイヨン等（コンブ・ホタテ・カニ・ポーク・チキン等）

売上高 (百万円) ■ 別添用 ■ 業務用 ■ 天然エキス ■ 商品等 ■ 営業利益 営業利益 (百万円)



※当社は第50期より連結計算書類を作成し、第49期は単体業績の数値を掲載しております。

海外戦略

新たな柱として、北米では子会社を設立し、現地担当者がラーメン店の他外食関係へ、精力的に営業活動を行っております。アジアでは担当者を東京支店に配置しております。ニーズに応じたメニューやレシピ提案、PB・OEM対応などの活動を行いながら海外進出のサポートをしております。北米の現地展開、アジア輸出拡大を目指し国内外の営業活動を積極的に行っております。また、海外サイト（アリババ）に出展、当社製品をアピールしてまいります。



和弘食品の特徴

当社の安心・安全な製造工程

最新鋭のシステムを備えた生産工場では、HACCPを基準に原料の受入検査に始まり、工程検査、品質検査から出荷検査に至るまであらゆる工程で厳重な検査・管理を行っています。

工程
1



工程
2



工程
3



工程
4



CIP洗浄

● 定置洗浄殺菌による衛生性確保※CIP洗浄・・・生産設備を分解せずに、簡単な操作で安全に自動洗浄するシステム

計量調合釜 (CIP付)

● 計量の正確度向上

検査室

- 製品の確かさの確認
- 検査データの集積と利用

充填機 (清浄空気室)

- 充填室は工場内最陽圧
- 飛翔昆虫の侵入を防御
- 一部にクリーンルームを設置

工程
5



工程
6



工程
7



二重シャッター・積替え室

- 製造工場内で充填された製品はここから倉庫へ
- シャッターは片方ずつしか開放されない構造

保存

- 冷蔵保存
- 常温保存

担当者の声

品質管理とは、『お客様の要求にあった品質の品物またはサービスを経済的に作り出すための手段の体系』と定義されています。すなわち、よりよい製品をより正しく、より上手に作るための取り組みのことを指します。食品企業でもっとも大事なことは、安全でおいしく、また品質のよい製品をお客様に常に提供することです。そして、安定した品質の製品を継続して提供するためには、製造において総合的に品質管理を行う必要があります。品質管理部門では、最高の製品をお客様にお届けするため、最高の材料、最高の環境はもちろ、最高の品質管理にも徹底的にこだわり続けています。北海道工場品質管理グループマネージャー 羽川和英

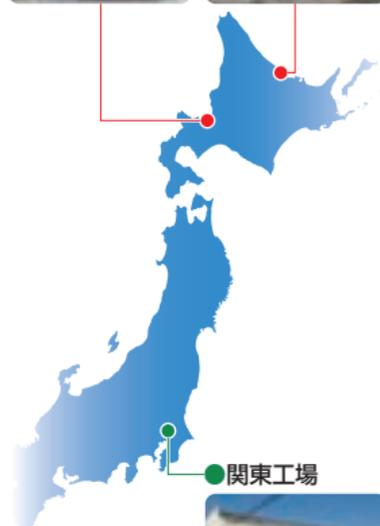


当社の工場所在地

●北海道工場



●北海道第二工場



●関東工場





財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第51期 中間期 (平成25年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	2,835,773
固定資産	2,943,993
繰延資産	91,237
資産合計	5,871,005
負債の部	
流動負債	1,125,565
固定負債	617,444
負債合計	1,743,009
純資産の部	
株主資本	4,080,556
その他の包括利益累計額	47,439
純資産合計	4,127,995
負債純資産合計	5,871,005

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第51期 中間期 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)
売上高	2,857,645
売上原価	2,138,749
売上総利益	718,895
販売費及び一般管理費	616,442
営業利益	102,452
営業外収益	48,242
営業外費用	10,065
経常利益	140,629
特別利益	30,946
特別損失	295
税金等調整前四半期純利益	171,280
法人税、住民税及び事業税	78,097
法人税等調整額	2,059
少数株主損益調整前四半期純利益	91,124
四半期純利益	91,124

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第51期 中間期 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,491
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82,212
現金及び現金同等物の期首残高	1,504,060
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,421,847

IRサイトのご案内



決算の詳細な情報につきましては、当社ホームページの「IR情報」から「決算説明資料」でご覧いただけます。

詳細な財務情報はこちら

和弘食品

検索



会社概要

(平成25年9月30日現在)

会社名 和弘食品株式会社
(英文名称) Wakou Shokuhin Co., Ltd.
設立 昭和39年3月30日
資本金 1,413,796千円
本社所在地 北海道小樽市銭函3丁目504番地1
従業員数 150名 (左の従業員の他に臨時社員等を雇用しており、年間の平均雇用人数は85名であります。)

取締役及び監査役

【取締役】

代表取締役社長 和山明弘
取締役副社長 市川敏裕 (営業本部長兼営業企画部長兼商品部長兼営業開発部長兼生産本部管掌)
専務取締役 中島康二 (管理本部長兼経理部長兼経営企画室長兼提携業務推進室長)
常務取締役 後藤政弘 (品質保証室長兼CVS部担当)
取締役 城畑孝康 (生産本部長兼営業副本部長)

【監査役】

常勤監査役 久松幸雄
監査役 森本 清 (森本清税理士事務所所長)
監査役 森川潤一 (森川公認会計士事務所所長)

※ 監査役のうち森本清氏及び森川潤一氏は、社外監査役であります。また、監査役森本清氏及び監査役森川潤一氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

本社、支店ならびに工場所在地





株式情報

(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	16,600,000株
発行済株式の総数	9,493,193株
株主数	2,342名
総株主の議決権の数	8,179個

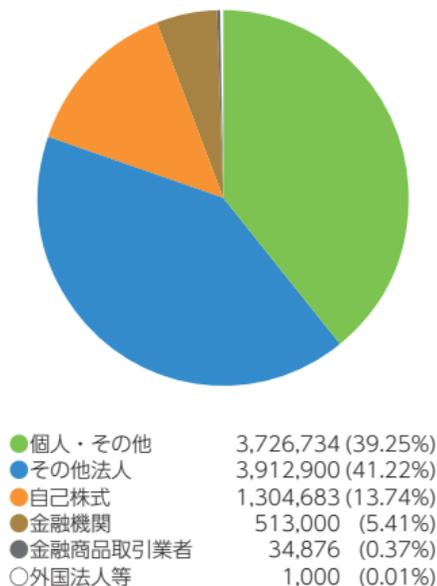
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社和山商店	2,074	25.33
日清オイリオグループ株式会社	1,600	19.53
和山 明弘	204	2.49
株式会社北陸銀行	190	2.32
株式会社北海道銀行	142	1.73
水元 公仁	100	1.22
日本生命保険相互会社	90	1.09
中川 なを子	80	0.98
和弘食品社員持株会	73	0.89
斎藤 大洲	52	0.63

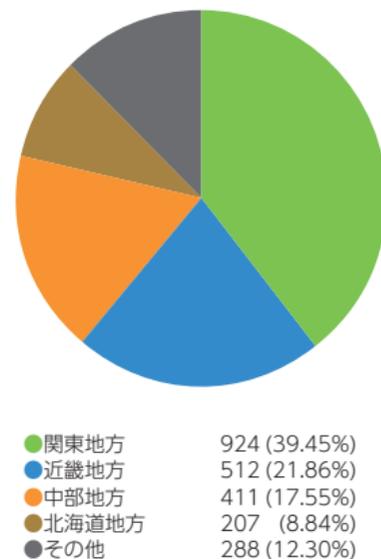
※ 1.当社は、中間期末日現在自己株式を1,304,683株所有しております。
 2.持株比率は自己株式(1,304,683株)を控除して計算しております。

株主構成

[所有者別(株式数)(株)]



[地域別(株主数)(名)]



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.wakoushokuhin.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
証券コード	2813 (東京証券取引所)

和弘食品株式会社

北海道小樽市銭函3丁目504番地1 <http://www.wakoushokuhin.co.jp/>

【お知らせ】

ご注意

- ①株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ②特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- ③未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



環境保全のため、植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。